

4. 中学校クラブ活動の充実について

- (1) 摂津市が実施している「中学校部活動振興相談員」制度を参考に、本市でも学校間に差がないクラブ活動環境の整備を求める

【答弁】

中学校における部活動は、学校教育活動の一環として、生徒にスポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や、責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、生徒の自主的、自発的な参加により実施されているところであります。

しかしながら、部活動によっては、その指導において高い専門性が求められることから、教職員だけでは十分な技術指導等を行えない場合があります。現在、外部指導員の方々に協力いただいている中学校もございます。

適切な部活動の運営としては、教職員と外部指導員との共通理解や役割分担が不可欠であり、また、勝利至上主義ではなく、人格形成の視点に立った指導が大切であります。

議員ご紹介の摂津市の取組は、部活動指導において実績のある退職校長を嘱託職員として雇用し、各学校へ巡回訪問を行い、経験の浅い教員を対象に、授業づくりや生徒との関係づくり、保護者との連携の在り方について指導助言を行うとともに、中学校への巡回の際には、各部活動の現状も把握し、適切な助言を行い、部活動の活性化を図るという取組でございます。

現在、本市においても教職経験豊かな教育カウンセラーを雇用し、各校へ派遣していることから、摂津市の事例を参考に、部活動の状況把握や必要に応じて教員の指導を行うなど、教育カウンセラーの更なる有効活用をすすめてまいります。

加えて、本市教育委員会といたしましては、部活動における指導力向上を図るため、指導経験豊富な講師を招聘し、教職員及び外部指導員を対象とした部活動指導者研修の実施について検討するなど、今後も部活動を通じて生徒の健全育成に努めてまいりたいと考えております。